



# 住宅産業新聞

## Housing Industry News

発行所 住宅産業新聞社  
発行人 宮村昭広  
〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8  
ラ・ベルティ新宿1101  
TEL (03)6233-9611  
広告 jutaku@housenews.jp  
https://www.housenews.jp  
©住宅産業新聞社 2025

# 《ユーザー版》

# 無料



# 昭和百年節目の年に

### INDEX

- 2 セキスイハイム 1
- 3 25年度税制・予算  
若者・子育て世帯優遇延長
- 4 三井ホーム
- 5 住宅各社が高断熱の省エネ住宅
- 6 パナソニックホームズ
- 7 断熱性能に優れた木造住宅
- 8 ポラスグループ
- 9 野村総研が「働き方と移住」調査
- 10 ミサワホーム
- 11 住友林業
- 12 大和ハウス工業
- 13 東急 Re・デザイン
- 14 旭化成ホームズ
- 15 セキスイハイム 2
- 16 積水ハウス

2025年が幕を開け、年末から年始にかけて例年以上に長い連休を過ごした人が多かったのではないだろうか。昨年は元日に能登半島地震が発生し、翌日には羽田空港で旅客機と海上保安庁航空機が衝突する事故、さらに北九州市繁華街での火災など大規模な災害、事故が相次いだ。今年も日本海側、東北地方などでは大雪に見舞われ、家屋が被害を受けたほか仕事に影響が及んだ方々が多く、改めて自然の力を見せつけられた。

日頃、当たり前を過している自宅だが、災害時にも暮らし続けることは可能なのか。また災害はなくとも健康で安心、快適に生活していくことはできるだろうか。シニアにとっても住みやすいだろうか。さらには、そうした住宅を購入する際には知っておくべきことは何か。これから新たに住宅を購入する方、買い替えやリフォームを検討している方々も年の初めに改めて住まいについて思いを巡らせた。

今年は今和7年であるとともに「昭和百年」という節目の年。昭和、平成、令和と時代が移り変わり、私たちの住まいも100年間で大きく変わった。以前は豪農や商家、旧武家屋敷に代表される在来工法による日本家屋や炭鉱などで見られた長屋、さらには小屋のよう質素な家が長く日本の住宅の主流だった。それが昭和40年代にはプレハブ住宅が登場し、団塊世代の住宅購入意欲を刺激、住宅の大量供給を後押しした。そしてプレハブ住宅の登場は住宅の基本性能が飛躍的に進化することに大きく貢献した。

現在、耐震性能でいえば「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」に基づく耐震等級が定められ、「数百年に一度程度の地震に対しても倒壊や崩壊しない」とする等級1から段階的に性能が定められ、住宅各社

## 社会や暮らしが大きく変化

はより高い等級の住宅を開発している。さらに昭和から令和にかけて大きく変化したのが断熱性能だろう。かつての日本家屋は板の間の上に畳を配し、壁は土壁もしくは板をつなぎ合わせたものだった。高温多湿の日本では通気性を重視し、とくに夏の生活を軸に住まいを設計した。

それが昭和40年代から50年代におこったオイルショックによって、省エネルギーが声高に叫ばれるようになった。プレハブ住宅を中心に断熱材は改良され、あわせて除湿も技術開発が進み、気密性を高めつつも断熱性能は飛躍した。現在、断熱性能は「外壁、窓等を通しての熱の損失の防止を図るための断熱化等による対策の程度を等級で表示している。2022年4月に等級5が、同年10月には等級6と7が新たに設けられた。25年度は等級4が新築住宅に義務化されることから、今後は等級4が事実上の最低水準となる。

近年、増加しているゼロエネルギー住宅の断熱性能は等級5水準のため、新築、リフォームの際、まずはこのレベルの断熱性能を基準にすることになるだろう。詳しくは後述するが、住宅大手もこぞ断熱等級6、7を目指して新商品、新技術を投入している。

電気代やガス料金が高騰し、日常生活を大きく変えることなくとも光熱費負担は重くなっている。数十年にわたって住み続ける住まいでは断熱性能は決して無視できない要件だ。また高い断熱性能はヒートショックの抑制にもつながり、健康問題への貢献も見逃せない。物価が上昇し、住宅の建築コストも年を追って上がっている。日々の生活費の負担軽減に貢献する断熱性能だけでなく税制優遇策、さらには建築時には行政の支援策についても多くのメニューが揃えられている。住宅購入時には忘れずにチェックしたい。

### 編集部からのお願い

この新聞は、マイホーム購入や賃貸経営等をお考えのユーザーの皆様向けに無料で配布しているフリーペーパーです。貴社・貴所にご来店されるお客様にご自由にお取りいただける場所に置いていただければ幸いです。また、お届けする部数を増やすなどのご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 住宅産業新聞社  
TEL : 03-6233-9611  
jutaku@housenews.jp



# 想像してください。 クリーンな太陽エネルギーで 過ごす毎日を。

昼間は、太陽光発電システムで発電した電気で生活。

夜は蓄電池に貯めた電気で暮らす。

セキスイハイムは、昼も夜も、クリーンな太陽エネルギーで過ごす、  
エネルギー自給自足の暮らしをご提案します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー  
A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オークラブステータージュタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。  
▶ホームページ: [www.sekisuiheim.com](http://www.sekisuiheim.com) ▶お問い合わせ先: 0120-369-816

# 各種減税や支援策継続

## 子育てグリーン住宅支援事業の概要

■住宅の新築（注文、分譲、賃貸）			補助額
対象世帯	対象住宅		
すべての世帯	GX志向型住宅		160万円/戸
子育て世帯等	長期優良住宅	建替前住宅等の除却を行う場合	100万円/戸
		上記以外の場合	80万円/戸
	ZEH水準住宅	建替前住宅等の除却を行う場合	60万円/戸
		上記以外の場合	40万円/戸

※子育て世帯等とは「18歳未満の子を有する世帯（子育て世帯）」又は「夫婦のいずれかが39歳以下の世帯（若者夫婦世帯）」  
 ※対象となる住戸の床面積は50㎡以上240㎡以下とする。

■既存住宅のリフォーム			補助額
メニュー	補助要件		
Sタイプ	必須工事3種の全てを実施		上限：60万円/戸
Aタイプ	必須工事3種のうち、いずれか2種を実施		上限：40万円/戸

《補助対象工事》	
必須工事	①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置
付帯工事	子育て対応改修、バリアフリー改修等

※賃貸住宅や買取再販事業者が扱う住宅も対象に含まれる  
 ※「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業」（環境省）、「高効率給湯器導入促進による 家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」（経済産業省）及び「既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業」（経済産業省）とのワンストップ対応を実施し、併せて実施することが可能。



ン減税を継続実施することを決めた。新築の長期優良住宅や低炭素住宅なら借入額4500万円を限度に控除が可能。子育て世帯ならば最大5千万円まで控除対象となり、合計所得金額が2千万円以下の年に適用される。

長期優良住宅は耐震等級3、断熱性能等級6など長期にわたり優良な状態で使用するために措置が講じられている住宅をさす。住宅ローン減税における借入限度額が引きあがられるだけでなく、住宅ローンの金利や地震保険料の割引率で

が長期優良なのかZEH水準または省エネ基準適合なのか、性能レベルによって借入限度額は変わってくる。

■予算措置も子育て支援  
 24年度補正予算と25年度予算は引き続き子育て世帯の住宅取得を支援する内容となった。政府はグリーン・トランスフォーメーション（GX）を推進していることから、予算措置ではGXを後押しする住宅取得を促しながら、経済的負担が増え続ける若者子育て世帯への住宅支援を強化する。注目されるのは「子育てグリーン住宅支援事業」だ。新築については1戸あたり40万〜160万円、リフォームについては1戸あたり最大60万円まで補助する。

新築は昨年11月22日以降の基礎工事後の工程に着手した

## 質の高い住まいには重点配分

既存住宅のリフォームへの補助は①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置が必須工事。このうち全3工事を実施するSタイプは1戸あたり60万円を上限に、3工事のうち2工事を実施するAタイプへは同40万円を上限に補助する。3工事を実施した場合には「子育て対応改修」バリアフリー改修等の付帯工事も補助対象となる。また「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度のそれぞれについて、他事業を組み合わせることも注目したい。

### ■住宅ローン控除は借入限度額が最大5千万円

新築住宅を購入したとき、あるいはリフォームを実施したときには様々な減税措置や政府の支援策がある。特に子育て世帯には住宅を取得する環境が厳しさを増していることから政府当局が特に注力している。減税では特に住宅ローン減税に係る措置に注目がたい。金利が下がりにくい状況にあって、ローン返済は日々の生活にも大きく影響する。また住宅購入支援策では

戸当たり最大で160万円も

# 戸当たり最大160万円も

の支援が得られる制度がある。無理のない資金計画を立てるためにもどのような施策があるのか押さえておこう。

住宅ローン減税は国民が「無理のない負担で居住ニ

ズに応じた住宅を確保すること」を政府として促進するためのもの。住宅ローンを借り入れた住宅の新築、取得または増改築等をした場合に、年末のローン残高の0.7%に

る制度。その期間は最大13年に及ぶ。教育費負担が大きい子育て世帯にとっては毎年、大きな支援になることは間違いない。

2025年度税制改正は24年度に実施していた住宅ロー

も有利な条件をひきだせることから、多くの支持を集めている。

住宅ローン減税は新築に限らず、既存住宅の購入も最大3千万円の借り入れまで控除が可能になる。購入する住宅

断熱等性能等級「6以上」、再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」などの要件を満たしたものを、「18歳未満の子を有する世帯」と「夫婦のいずれかが39歳以下の世帯（若者夫婦世帯）」である「子育て世帯」には長期優良住宅で80万〜100万円、ZEH水準住宅へは40万〜60万円が補助される。

既存住宅リフォームへの補助は①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置が必須工事。このうち全3工事を実施するSタイプは1戸あたり60万円を上限に、3工事のうち2工事を実施するAタイプへは同40万円を上限に補助する。3工事を実施した場合には「子育て対応改修」バリアフリー改修等の付帯工事も補助対象となる。また「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度のそれぞれについて、他事業を組み合わせることも注目したい。

住宅取得にかかる各施策、減税措置については国土交通省など関係省庁のホームページに詳細が掲載されている。同時に購入時には住宅会社の営業スタッフに確認することをお勧めしたい。資金計画を綿密に組み立てることで、住宅の性能を高めることも可能になる。有効な施策を余すことなく利用しよう。

憧れを、かたちに。


**三井ホーム**  
MITSUI HOME

**50**th ANNIVERSARY

# 木の家は、 三井ホームで進化する。

1974年の創業から、今年で50年。いち早くツーバイフォー工法を導入し、日本の木造住宅に革新を起こしてきた三井ホームが、独自の技術を結集させ、次の50年に向けて生み出したもの。それが、MOCX WALL工法です。

新しい工法がかなえたのは、木の常識を超える驚きの強さ。

圧倒的な耐震性、耐火性、断熱性を身につけることで木の家は、より一層、いのちを守る家へ進化しました。

進化したのはそれだけではありません。

強くなることで、設計の自由度が広がり、かつてない大空間を実現。住まいの憧れを次々にかたちにする家へ進化を遂げたのです。

強さもデザインも手に入れ、脱炭素社会にも貢献する高強度木造住宅。これからも、木の家の進化は、三井ホームとともにあります。

〈モクスウォール〉

## MOCX WALL 工法誕生。

### いのちを守る壁。

50年にわたりツーバイフォー工法を進化させ、  
震度7に60回耐えた実大耐震実験で  
強さを証明してきた三井ホームが生み出した新たな壁。  
「MOCX WALL」があなたの大切な家族を守ります。

MOCX WALL CG

### 夢を広げる壁。

壁が強くなることは、少ない壁で家をつくれること。  
「MOCX WALL」が間取りやデザインの自由度を広げ、  
大空間の夢をかなえていきます。

内観イメージCG

三井ホームはおかげさまで50周年。特設サイトでカタログ進呈中！

モクスウォール工法 検索

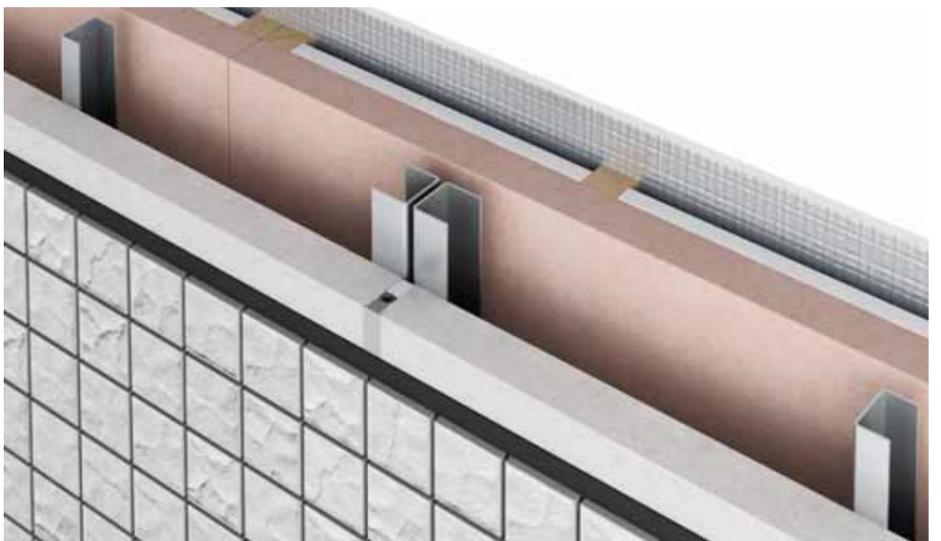


&EARTH with WOOD

さあ、街から未来をかえよう  

**三井不動産グループ**  
 MITSUI FUDOSAN GROUP

# 厳冬時に温かさ 猛暑には涼しさ



『xevom3』は内外ダブル断熱（上＝大和ハウス工業）、家全体の断熱性のバランスを考慮（中上＝積水ハウス）、工場で内壁断熱材を取り付け（中下＝セキスイハイム）、賃貸併用も高い断熱性能（下＝パナソニック ホームズ）

この1月は冬の気配が続き、日本海側を中心に大雪に苦労された地域が多くみられた。猛烈な寒波で例年以上に冷え込みを感じる日が続いている。せめて自宅では温かく過ごしたいものだが、肝心の断熱性能が十分に発揮されなければ、温かさは維持することが難しく、さらには経済的負担も増すばかりとなる。住宅各社は厳冬には温かく、猛暑には涼しく過ごすことができる暮らしのニーズに応える。

積水ハウスは「家全体を温かくする」ことをコンセプトに断熱を設計する。天井、壁、床など各所に適切に、かつ全体のバランスを保ちつつ断熱材を選定。柱や下地材の大部分にも断熱材を配置する。熱の逃げ道をなくして「寒い冬もぬくぬくとした居心地」を実現する。

一例が超高断熱アルミ樹脂複合サッシだ。一般のアルミ樹脂複合サッシの1.4倍の断熱性能を実現する。サッシから伝わる冷気を防ぎ、室内の温度を維持する。同社は供給率が90%を誇るZEHにこうした「ミライクラス+」プラ

断熱などによる省エネ技術を取りいれている。世に上回る商品パッケージ。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

「オム3」はZEH+水準を快適性を両立する。これ「オム3」を発売した。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

「オム3」はZEH+水準を快適性を両立する。これ「オム3」を発売した。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

「オム3」はZEH+水準を快適性を両立する。これ「オム3」を発売した。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

「オム3」はZEH+水準を快適性を両立する。これ「オム3」を発売した。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

「オム3」はZEH+水準を快適性を両立する。これ「オム3」を発売した。ただでなく同社は省エネ「都市にちよどい」断熱等級6相当の断熱材を備えた。工場生産による平屋と2階建ての性能を備えた。戸建商品が断熱等級6をして、高い断熱性能を有する。ZEH基準も標準仕様としているのも、高耐久性と省エネ性を両立する。これ「オム3」を発売した。

## 高断熱で経済的な負担軽減

## 家全体でのバランスも重要

材「フェノールフォーム」を採用した「ハイグレード断熱」は賃貸併用住宅の自宅部分（最上階）や1階部分でも「水準A」が可能となる。

東急Re・デザインは昨年4月1日付で大和ハウスウッドリフォームに当社首都圏の戸建リフォーム事業と新築事業を譲渡。25年4月1日にはオーナーリフォーム事業とアフターサービス業務についても大和ハウスウッドリフォームに事業譲渡する。住宅のリフォーム事業は首都圏でマンション、関西圏でマンションと戸建を手掛ける体制となる。

関東圏での事業推進の核となるのが、東京都・東池袋にオープンした「リノベーション・スタジオ」。マンションリノベーションをリアルとバーチャルで体感できるモデルルームだ。モデルルームは一部を工事中の状態にして、断熱材・配管・配線状況を確認でき、リノベーション工事の過程を理解しやすとした。

また、計画図面をデジタル化し、ビフォーアフターのイメージを臨場感ある大画面でみることが可能。実際に近いスケールを体感できるのもうれしい。

寒さが身に染みる今の季節、総合展示場などに設けられているモデルルームに足を運んで住宅会社の断熱性能を実体験することをお勧めする。

Panasonic Homes

未来をまちづくる PLT Group

# 住み、継ぐ。

家を建てる時、最初に浮かんだのはこの子の将来だった。  
これからこの家で、たくさん積み重ねていこうと思っ出。

だから、この子が健やかに暮らせる家になりたい。  
災害に強く、快適な住空間がずっと続く家に。

この子のことをそばで支え続けるように、この家のことも大切にしていきたい。  
そうすれば、もしこの家を手放したとしても、次に住む人だって健やかに暮らせるだろう。

この子の将来を考えることが、  
この街のよき未来につながっていくのかもしれない。



○パークテラス神戸みずき台(神戸市灘水区)

## 3つの安心で「価値ある住まい」を未来に住み、継ぐ。

震度7の揺れでも倒壊0棟<sup>\*1</sup>の耐震性と  
長期的に住み続けられる耐久性、アフターメンテナンス。  
そして、家族の成長とともに間取りをリフォームできる  
設計の自在性や間取りの拡張性。  
さらには、次のオーナーさまへと住み継ぐことを考え、  
資産価値を高める住まいと安心の暮らしを  
トータルで支えます。

住まいの安心  
最大震度7の  
地震による倒壊数  
**0棟**<sup>\*1</sup>

暮らしの安心  
4年連続  
顧客満足度  
**No.1**<sup>\*2</sup>

品質の安心  
スムストックに準拠  
最長  
**60年保証**<sup>\*3</sup>



<sup>\*1</sup> 最大震度7 (マグニチュード7.0以上)を記録した阪神・淡路大震災と、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震で被災した当社住宅のうち地震の揺れにより倒壊した住宅は0棟(当社調べ)。  
<sup>\*2</sup> 2021-2024年 オリコン顧客満足度<sup>®</sup>調査 マンションリフォーム 第1位  
<sup>\*3</sup> 保証終了時の点検、診断に基づく保証延長工事を行うことで保証は最長60年まで延長が可能。保証延長には有償メンテナンス工事の実施など一定の条件があります。

「住み、継ぐ」ための  
保証とサポート体制はこちら→



パナソニックホームズ株式会社  
homes.panasonic.com

# 木材という素材の優れた断熱性能に

## 温かく快適な暮らしを実現

### カーボンニュートラルも



「断熱はやはり木造」カーボンニュートラルを標準とし、家中が冬暖かく夏涼しい温熱環境を型エアコンを1台ずつ設置し、夏は2階のエアコンを稼働、冬は1階のエアコンを稼働し、温度設定ごとに効率的な空気循環で室温を調整する。断熱材の厚みは壁100mm、天井210mm、床100mmを確保。1980年頃の旧省エネ基準住宅に比べて熱の伝わりが約80%低減するアルゴンを採用した「MOX」でもある同社は0.1以下の超気密仕様へも対応している。

「断熱はやはり木造」の考えは根強い。鉄骨住宅でも高い断熱性能を発揮できるが、木造は素材の木材自体の断熱性能が優れている。また気密性も保持しやすい。カーボンニュートラルへの意識がたかまり、省エネ性能にも優れている木造住宅の断熱性能が改めて見直されている。

昨年、低層住宅地をターゲットにして投入した新ブランド「Asu-haus（アスハウス）」は、断熱性能が最高等級「A」を誇る。背景にあるのは、鉄骨住宅のイメージが強い旭化成ホームズも昨年から木造住宅に注力している。断熱性能が最高等級「A」を誇る。背景にあるのは、鉄骨住宅のイメージが強い旭化成ホームズも昨年から木造住宅に注力している。

「断熱はやはり木造」の考えは根強い。鉄骨住宅でも高い断熱性能を発揮できるが、木造は素材の木材自体の断熱性能が優れている。また気密性も保持しやすい。カーボンニュートラルへの意識がたかまり、省エネ性能にも優れている木造住宅の断熱性能が改めて見直されている。

昨年、低層住宅地をターゲットにして投入した新ブランド「Asu-haus（アスハウス）」は、断熱性能が最高等級「A」を誇る。背景にあるのは、鉄骨住宅のイメージが強い旭化成ホームズも昨年から木造住宅に注力している。

「Asu-haus」(上)旭化成ホームズ、伝統の技術に付加価値のせたスマートテック断熱アドバンスの内観(中上)ミサワホーム、こだわりの高気密・高断熱が定評の分譲住宅(中下)ポラスグループ、モクスウォールは木質のメリットを最大限引き出す(下)三井ホーム

を戸建住宅向けに最適化した。自由な設計・デザインと開放的な空間を実現するのが特徴だが、断熱性能も特筆できる。厚みのある断熱材を隙間なく天井、壁、床に家を覆うよう高密度で充填する。また超断熱内外ダブル断熱により断熱等級7も可能にする。分譲住宅に定評があるポラスグループは、灯りのいえない協定で街全体の防犯性を高めつつ、夜でも街全体を明るく照らすことで街区全体に温かみを醸し出す。むろん各邸宅の温かさも断熱性能を十分に発揮している。こだわりの高気密・高断熱の住まい。冷暖房効果を高める気密性と室内の温度変化を小さくする断熱性能を組み合わせて、1年を通じて過剰なエネルギーを消費せず、快適な暮らしを実現したいという夢を、経済的にも支える断熱性能は新築、リフォームを問わず妥協せず検討したい。

「Asu-haus」(上)旭化成ホームズ、伝統の技術に付加価値のせたスマートテック断熱アドバンスの内観(中上)ミサワホーム、こだわりの高気密・高断熱が定評の分譲住宅(中下)ポラスグループ、モクスウォールは木質のメリットを最大限引き出す(下)三井ホーム

# ポラスの注文建築



★  
**ポラスの技術は、  
 大工の技術。**

お客様の理想を叶えるため、  
 ポラスの大工は自らの技を  
 極め続けます。

ポラスの大工が建てる技の家。  
 体感すまいパークで。

体感すまいパーク吉川美南  
 ポラステクノシティと一緒に  
**2025年3月 オープン!!**



※イメージパース/図面を基に描き起こしたもので実際とは多少異なります

体感すまいパークでお待ちしています。

2025.3.1 OPEN /



2024.12.21(土)～  
 2025.3.20(木・祝)

フェア詳細は  
 こちら

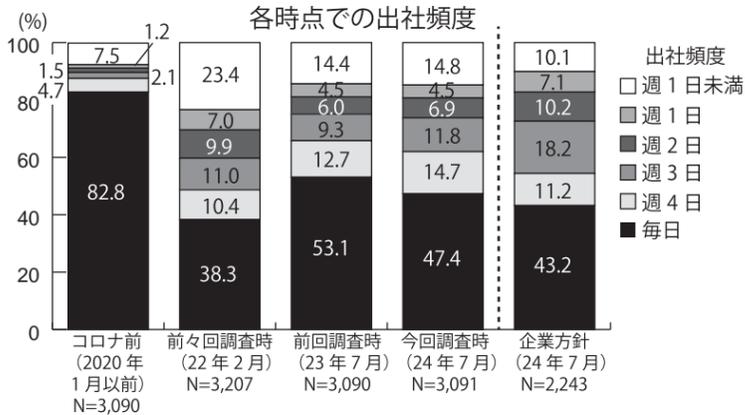


住まい価値創造企業  
**POLUS**  
 ポラスグループ

ポラスの注文住宅 🔍

# コロナ後は週3回出社が定着

## 野村総研が「働き方と移住」調査



2024年7月時点での出社頻度を尋ねたところ、「週3日以上」は73・8%で、前年同期の75・1%から1・3%減少した。この微減に関して、NRIでは、23年5月の新型コロナウイルス「5類感染症」移行を境に出社頻度が大幅に上昇した前回調査時から「揺り戻し」の動きとして、一部の就業者がテレワークや在宅勤務を再度増やした影響等が推察される、としている。

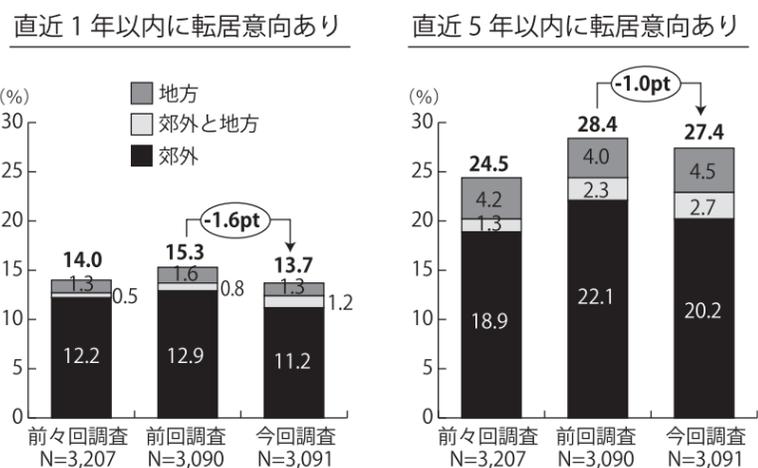
### 郊外・地方への転居意向は減少

アフターコロナの出社頻度は「週3日以上」が73・8%に……。野村総合研究所（以下「NRI」）はこのほど東京都内の会社員を対象に「働き方と移住」についてインターネット調査を実施（2024年7月時点で大企業に勤務する20代〜60代の3091人を対象）、結果を公表した。同調査は22年から毎年実施しているもので、今回は3回目。また、移住に関しては「直近5年以内」に地方などへの転居を望む人は全体の27%であることなどが明らかになった。

「週3日以上」が72・6%となり、前年7月時点の週3日以上の出社比率と概ね一致した。NRIでは、この傾向が続けば、今後はテレワークや在宅勤務への「揺り戻し」が大きなムーブメントになるというよりも、「週3日以上」の出社がアフターコロナのスタンダードとして定着していくことが見込まれるが、前回調査時

と比較して「毎日出社」の割合は53・1%から47・4%に減少し、「週3日出社」「週4日出社」の割合が増加しており、週3日以上の出社頻度は定着したものの、コロナ前と比較して柔軟な働き方も一定程度許容されつつあるのでは、と分析している。

郊外・地方への転居意向



注) 各棒グラフ上の数値は、地方・郊外と地方・郊外の合計値

### 転居理由 「都心・職場・駅との距離」を重視

## 「過去の受動的訪問」や「ふるさと納税」

ある人に対し「転居する際の住まい選びで重視する項目（上位3つ）」を尋ねたところ、

「通勤・通学」(14・2%)、「インターネット上のおすすめ・口コミ」(10・5%)、「TVや新聞雑誌での広告・特集」(9・6%)、

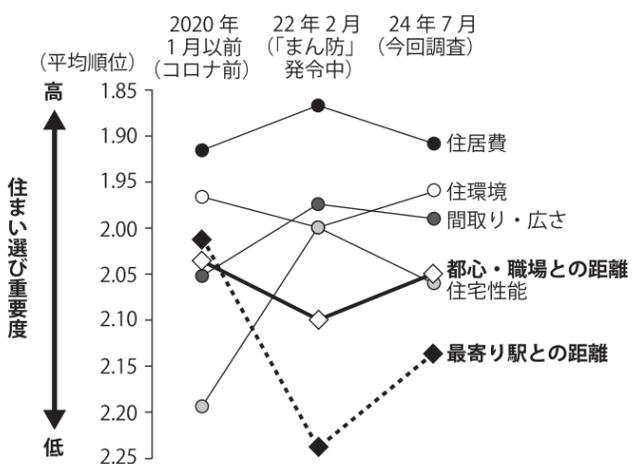
「直近5年以内」に転居意向がある人は全体の13・7%（前回調査時15・3%）、「直近1年以内」は同27・4%（同28・4%）と、前々回調査（22年2月）から前回調査（23年7月）にかけて上昇した郊外・地方への移転意向は減少した。直近5年以内に転居意向が

る、コロナ禍の最中は低下していた「都心・職場との距離」「駅との距離」の重要度がコロナ前と同水準にまで回復していた。一方で、「住居費」や「間取り・広さ」の重要度はコロナ禍と比較して低下した。結果から、NRIでは、

「通勤・通学」(14・2%)、「インターネット上のおすすめ・口コミ」(10・5%)、「TVや新聞雑誌での広告・特集」(9・6%)、

「通勤・通学」(14・2%)、「インターネット上のおすすめ・口コミ」(10・5%)、「TVや新聞雑誌での広告・特集」(9・6%)、

転居する際の住まい選びで重視する項目 (直近5年以内に転居意向がある人)



「通勤・通学」(14・2%)、「インターネット上のおすすめ・口コミ」(10・5%)、「TVや新聞雑誌での広告・特集」(9・6%)、

# MISAWA

## 防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

1st  
SAFETY  
SOLUTIONS  
備えるデザイン

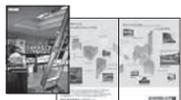
2nd  
SAFETY  
SOLUTIONS  
守るデザイン

3rd  
SAFETY  
SOLUTIONS  
支えるデザイン

# MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA  
Life  
Continuity  
Performance



先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ [www.misawa.co.jp/catalog/](http://www.misawa.co.jp/catalog/) ハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)  
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 私書箱6111号 ミサワホーム株式会社「LCP」K係

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、[www.misawa.co.jp/privacy](http://www.misawa.co.jp/privacy)をご覧ください。

詳しくはWEBで

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします

**ミサワホーム**

価値と快適をデザインします

**ミサワリフォーム**

賃貸経営から介護・福祉事業  
複合土地活用まで

**ミサワ資産活用**

# Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろうか。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福

 住友林業

多様な生き方に、  
多彩な住まい方を。

さまざまな価値観や生き方、  
ライフスタイルが変化するたび、  
大和ハウスは新しい住まいの選択肢を  
提案してきました。

お客様の理想を叶える注文住宅はもちろん、  
厳選された間取りと設備を選んだり、  
カスタマイズする家づくり、  
さらには、注文住宅の品質を分譲住宅にまで。

すべての家が、  
豊かな人生を紡ぐ場所であるために。  
誰もが描いている想いを叶えるために。  
多様な時代のニーズに応える、  
多彩な住まい方を、これからも。

家は、生きる場所へ。  
LiveStyle  
Design

リブスタイルデザインの大和ハウス。



さまざまな住まいの選択肢から、みなさまの想いを叶えます。

フルオーダー  
【注文住宅】



家づくりの専門家チーム  
と一からつくりあげる、  
あなただけのこだわり  
を詰め込んだ理想の  
家づくりを実現します。

大和ハウスのスマートデザイン  
【セミオーダー住宅】



建築士の英知がバランス  
よく採用された間取り  
をベースに、こだわり  
をプラスしてカスタ  
マイズするセミオー  
ダー型住宅。

大和ハウスのスマートセレクション  
【規格住宅】



プロが厳選した人気の  
間取りをパッケージ化。  
価格と仕様が明快な  
数々のプランから、自分  
たちに合った住まいを  
お選びいただけます。

Ready Made Housing.  
【分譲住宅】



高いデザイン性や  
快適性、さらに長期  
保証まで。注文住宅の  
高い品質を分譲住宅  
で実現。



大和ハウス工業株式会社〈住宅事業本部〉  
東京本社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2172  
www.daiwahouse.co.jp




**TOKYU Re·DESIGN**


# Re

## 美しい暮らし これからの住まい

暮らし方や価値観が多様化する今、  
「自分らしく住みつなぐ」という  
新しい豊かさを愉しむ時代がはじまっています。

東急 Re・デザインは、一人ひとりの「大切」に寄り添い、  
暮らし心地を高め、カタチにするプロセスをお手伝いします。

いまをもっと、あなたらしく新しく。  
普遍的な美しさと上質なデザインを通じて、  
未来につづく新たな空間と価値をご提案いたします。

### 東急Re・デザインのマンションリフォーム

お問い合わせは **0120-935-109** 営業時間/9:00~18:00  
定休日/毎週水曜日(祝祭日を除く)

リデザ 検索



※詳しくは公式HPをご覧ください。※お問い合わせの際は「住宅産業新聞を見た」とお伝えください。

# HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、  
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、  
1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、  
マンションから賃貸住宅へ、  
戸建住宅からマンションへ、  
ライフステージや目的に応じて住み替える人も  
いらっしゃいます。  
住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、  
住まいを合わせていく。  
そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、  
わたしたちは、家族のこと、  
資産のこと、社会のこと  
あらゆることを考え抜き、最適な答を  
ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先  
下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。  
TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)  
FAX: **03-6899-3400**  
✉ [j-koho@om.asahi-kasei.co.jp](mailto:j-koho@om.asahi-kasei.co.jp)  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング7階  
旭化成ホームズ株式会社 広報室  
※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを  
ご覧ください。  
[https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html?link\\_id=AH\\_footer28](https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html?link_id=AH_footer28)

## 住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。  
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

### ヘーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを  
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

### ストックヘーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する  
もうひとつの住まいの選択肢です。

## 部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。  
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

### ヘーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を  
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

### ヘーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

介護施設ではなく、自立して暮らせる  
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

## 土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて  
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

### ヘーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な  
賃貸住宅経営。  
狭小の住宅地から大規模な  
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅(シニア向け)

### ヘーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

超高齢社会のニーズを捉えた  
賃貸住宅経営。  
土地活用をとおして社会に  
貢献できます。



中高層ビルディング

### ヘーベルビルズ

最大8階建ての中高層  
ビルディングの賃貸経営。  
賃貸マンション・店舗・  
オフィスなどへ展開可能です。



目指すのは  
全邸、最高品質。  
工場にしかできない  
家づくりをやろう。

家の大半を  
雨に濡れない屋根の下で  
大切につくる。

セキスイハイムは、家づくりの大半を工場で行っています。

工場内では部材や躯体を雨に濡らすことなく、安定した作業環境を維持。

大型機械などの先進技術を駆使し、工程別の管理や品質チェックを

人と技術の力を組み合わせながら行います。

この独自の生産方法で、全ての邸でいちばんの品質を目指します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー  
A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オークラブプレステージタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。  
▶ホームページ: [www.sekisuiheim.com](http://www.sekisuiheim.com) ▶お問い合わせ先: 0120-369-816



# 積水ハウスは、 「長く住み続けたい家」へ

これからの時代、  
本当に必要なものってなんだろう。

そんな思いから、安全や環境に配慮した  
「長く住める家」を供給してきた積水ハウスでは、  
新たなデザイン思想「life knit design (ライフ ニット デザイン)」に  
基づく家づくりを進めています。

何が好きか、何に惹かれるか、何を心地よいと感じるか。  
そんな一人ひとりの“感性”を住まいへと編み込み、  
暮らすほどに愛着が増していく「長く住み続けたい家」。

季節の移ろいを感じながら暮らせる住まいは、  
人生に豊かさを与えてくれる  
感性の器のような場所にもなりうる。

そう信じる私たちは、この新しい家づくりを通して、  
グローバルビジョン「[わが家]を世界一幸せな場所にする」を  
実現していきます。

  
life knit design

<https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/lkd>

